

平成 31 年 3 月 20 日
株式会社シーエス・ワンテン
株式会社日本ケーブルテレビジョン

CNNj 番組審議会議事録

- 1.日時 平成 31 年 2 月 19 日 (火) 14 時 00 分～15 時 00 分
2.場所 東京都港区六本木 1 丁目 1 番 1 号
テレビ朝日アーク放送センター B2 階 打合せ室
3.審議委員総数 8 名
出席委員数 7 名

(出席委員)

- 委員長 小池 生夫 (慶應義塾大学および明海大学名誉教授・言語学博士)
委員 大宅 映子 (評論家)
委員 石川 次郎 (編集者 (株)ジェイアイ社長)
委員 吉永 みち子 (ノンフィクション作家)
委員 国府 弘子 (ピアニスト・作編曲家)
委員 稲生 衣代 (青山学院大学教授)
委員 パックン (タレント)

(欠席委員)

- 委員 小西 克哉 (キャスター)

(衛星基幹放送事業者：(株)シーエス・ワンテン)

- 代表取締役社長 福田 泉
編成局長 谷 俊之

(番組供給事業者：(株)日本ケーブルテレビジョン)

- 代表取締役社長 鮫島 慎司
取締役 (放送事業局担当) 山本 陽一
放送事業局長 鈴木 隆泰
編成運行担当部長 村上 聡
総務局長 鈴木 正市
総務担当部長 城戸崎 ゆり

4.審議番組

- (1) 潜入！アメリカ裏社会「新・恋愛スタイル」

This is Life with Lisa Ling : Modern Love

放送日時：2018年8月1日（水）23時-24時（60分）

- (2) 「民主主義の危機 選挙権問題」

Democracy in Peril: The War on Voting Rights

放送日時：2018年11月3日（土）19時-20時（60分）

5.日本ケーブルテレビジョンの事業報告

- (1) CNNの現在の視聴世帯数は約614万世帯、内訳は、スカパー経由の衛星放送での視聴世帯数が110万世帯、ケーブルテレビ局経由の視聴世帯数が492万世帯、その他にホテルや法人・企業等で視聴されている。

平成30年度もトランプ大統領に関連するニュースが多く、CNNの契約数も順調に推移している。

J:COM やスカパー！のオンデマンドサービス、企業内や学校構内でのwifiを使ったスマートフォン視聴や全日空国内線の機内でもCNNを見ることができるようになった。

6.審議内容について

- (1) 潜入！アメリカ裏社会「新・恋愛スタイル」**This is Life with Lisa Ling : Modern Love**

全米を代表する女性ジャーナリストの1人、リサ・リンが、アメリカ社会の裏側に迫る人気のドキュメンタリーシリーズ。シーズン4より「新・恋愛スタイル」。仲のいい三角関係＝スループル（**throuple**）を楽しむレズビアンの女性たち。1人以上の伴侶を求める複婚主義者の男性。「恋愛、結婚生活は1対1である必要はない」と主張する彼らに、リサ・リンが密着する。

<委員意見>

- * Lisa Ling が素晴らしい。相手に寄り添ってアドバイスをしながら励まし同調して、相手の心に入り込む取材力は素晴らしい。
- * センシティブな出会いのその場に Lisa と女性カメラマンが傍らで影響しているにも関わらず、映像ではその気配を全く感じさず、主人公たちだけを自然に見せていることに驚いた。
- * 2つのストーリーを交互に見せる手法はアメリカでは多く、視聴者の結末を見たいという好奇心を掻き立てる。
- * この番組は視聴者の年代によって見方や受け止め方が違うと思った。
- * 番組名に「・・・with Lisa Ling」とあるが、まさに彼女が案内人であり、主人公と一緒に物語を作っていくという大事な役割を担っている。アメリカでは社会の固定概念をメディアが変えることが多く、レポーターの存在感は大きい。

- *世の中では“多様性”がキーワードとなり、どのような存在も認めよとの風潮が強いが、このような特別な内容のものは、あえてテレビで放送する必要がないと思う。
- *日本語字幕があるので、難しい関係がとても分かりやすかった。
- *内容をじっくり見て理解するには字幕が大変有効である。
- *何故「スループル」の字幕になったのか、「スリープル」か「スラップル」の方がわかりやすいのでは。

<JCTV の回答>

- *インターネット上で「スループル」という日本語表記になっていたのので、この表記にした。

(2) 「民主主義の危機 選挙権問題」 Democracy in Peril: The War on Voting Rights

11月6日の米中間選挙を前に放送されたスペシャル・プログラム。アメリカには住民登録制度がないため、選挙人名簿を作るためには、有権者自身が事前に有権者登録を行う必要がある。ところが「登録するための規則を厳しくする」、「近くの投票所を廃止する」、そして「特定の政党や候補者に有利なように選挙区を区割りするゲリマンダー問題」。国民に選挙権を保障するどころか、マイノリティーや低所得者を意図的に投票させないようにしている実態に、CNN キョン・ラー記者が迫る。

<委員意見>

- *投票できない人が存在するという、誰がみてもおかしい制度がアメリカで依然と残っていて改正されないことに疑問を感じる。
- *国民全員が投票できることが民主主義だと思っていたが、この番組を見てそうではなかったと愕然とした。
- *写真付き ID を作れば投票できるのに、作らない人がこれほど多いことが不思議だ。
- *民主主義の曖昧さ、不確実さを取材してまとめている内容だが、日本ではとても作れない番組だろう。
- *日本だとボード解説で丁寧に解説してくれるが、この番組の内容は日本人視聴者には理解するのは難しいと思った。
- *一つのテーマを徹底的に繰り返し繰り返し作っているから分かったところもある。ある程度の背景知識がある人向けの番組である。
- *アメリカの中間選挙前に放送された番組ということが驚きである。
- *テロップで「登録しないと投票できません」などと出せないのだろうか。
- *同時通訳無しではとても理解できない内容だった。



7.審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日
適切なローカライズについて、引き続き検討を重ねる

8.審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日
平成 31 年 4 月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定。

以上